



中学校における「主体的に学習に取り組む態度」の評価例

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(国立教育政策研究所)から、「主体的に学習に取り組む態度」を振り返りシートやワークシートの記述を活用して評価する例(国語・理科)の一部を抜粋しています。
(※次号は技能教科を掲載予定)



単元計画や評価規準等の詳細はこちらで御確認ください。
小中学校ともに、全教科、こちらからダウンロードできます。

【参考】お役立ち情報・関連バックナンバー

「主体的に学習に取り組む態度」について(令和3年2月号)
評価に関する校内研修例について(令和2年10月号)



国語

【単元名】 清少納言と自分のものの見方や考え方を比べる(P71)
【評価方法】 振り返りシート・観察

【生徒Xの振り返りシートの記述】

(第2時)

○前時までに学習したことで、本時の学習に役立ったこと。

1時間目の授業を受けて、清少納言のものの見方や考え方をどう捉えればよいのか大体分かっていたので、今日は現代語訳をそういう観点で読んでいった。原文が書いてあったので、今の言葉との違いも見付けながら考えた。

(第3時)

○本単元で課題を解決するために試行錯誤したこと。

清少納言と自分のものの見方や考え方の特徴を説明するのが難しかったので、共通点と相違点をいくつか書き出したり、友達に説明して意見を聞いたりした。

◎評価規準に即し、教師が振り返りの視点を意図的に示しています。

【「おおむね満足できる」状況(B)と判断した例】

下線部のような記述とともに、授業では、進んで原文を確認し、学習を進めている様子が観察された。

【「十分満足できる」状況(A)と判断した例】

下線部のような記述とともに、第3時の授業では、積極的に学習課題について考えている様子が観察された。また、第3時の振り返りの記述は、興味の広がり、応用・活用の意識と捉えた。

理科

【単元名】 天体の動きと地球の自転・公転(P54)
【評価方法】 ワークシート

〈ワークシートの構成例〉

◎課題に対する最初の考えと、解決後の考えとを比較し、その過程において、試行錯誤した学習の状況を振り返られるようにワークシートを構成します。

天体の日周運動から、どの向きに地球は自転していると言えるか、根拠を示して考えを書きましょう。

学習前の考え

学習後の考え

自転の向きを考察する過程で、どのように解決しようとしたか。学習前後の考えを比較して記述しましょう。

〈生徒1〉はじめは何から考えればよいか分からなかったけれど、動く方向と逆に見えるので友達が言ったので、なるほどと思った。

【「おおむね満足できる」状況(B)と判断した例】

学習方法や課題を解決しようとした取組が記述できている。

〈生徒2〉モデル実験の結果を実際の太陽の動きと合わせて考えた。乗り物に乗って目の前の風景が近づいてくるように見えることと原因は同じことに気付いた。地球が自転する映像はよく見るが、自転の向きを方位で考えたことがなかったので、楽しんで取り組めた。

【「十分満足できる」状況(A)と判断した例】

学習方法や課題を解決しようとした取組が記述できている、学習意欲やそれを高めた方法を記述している。

〈生徒3〉友達の話聞いて分かった。

【「努力を要する」状況(C)と判断した例】

学習方法や課題を解決しようとした取組、学習意欲やそれを高めた記述がない。また、課題を解決できたことも把握できない。